

モンゴル・日本「春の留学フェア-2024」
実施報告書

作成日：5月6日（月）

作成者：ウルジーマー

標記の第15回「春の留学フェア2024」を以下のとおり実施しましたので、報告いたします。

記

1. 開催日時： 4月20日（土）11：30～17：00
2. 開催場所： モンゴル・日本人材開発センター
（多目的室、ロビー、図書室）
3. 実施体制：

1) 日本留学フェア実施体制

主催： モンゴル・日本人材開発センター

共催： モンゴル国立大学（NUM）

後援・協力： 在モンゴル日本国大使館、国際協力機構（JICA）、日本学生支援機構（JASSO）
帰国留学生のJUGAMO会、モンゴル日本語教師会

2) センター内フェア実施体制

図書交流課を中心に実施。

JICA 専門家、総務課長がフォロー。

日本語課と総務課はブースと会場設営をサポート。

ビジネス課は通訳をサポート。

3) 参加大学・機関（五十音順）

（ハイブリッド参加）

京都先端科学大学、立命館アジア太平洋大学

合計：2校

4. 現地参加対象者と参加者数

➤ 参加対象者： 高校生、大学・大学院生、一般社会人、大学関係者など

➤ 参加者数： アンケート配布ベースで341名（内アンケート回答者数：285名）

（センター来館者数：（来場者延べ数）：595名）

5. 全体プログラム

・4月20日（土）

「留学フェア」→日本留学概要説明（日本センター）、国費留学生試験制度について（在モンゴル日本国大使館）、各大学紹介プレゼンテーション、帰国留学生体験イベント（JUGAMO）、各大学および在モンゴル日本国大使館、モンゴル日本語教師会、モンゴル・日本センターによる個別相談。

6. 広報実績

- 4月3日より留学フェアに関する情報をセンターFB、HPで広報を開始し、FBを通じて有料BOOST POSTサービスでフェア案内を発信した。
- JICA, JASSOのホームページで広報を掲載した。
- センター各種ML(日本語コース受講生、PCコース受講生、無料相談窓口利用者、日本語教師会)と日本の100以上の大学へメールリストにてフェア情報を発信した。
- フェア前日の4月19日にフェアのプログラムとスケジュールを「2024年最優秀卒業生」イベントにおいて300人以上の生徒たちに配布した。

7. アンケート集計

留学フェア4月20日(土) 回答者数285名(回収率約83.5%)

8. 日本留学説明会・留学フェア実施

① 留学フェア全体に関して：

今回「春の留学フェア2024」では、モンゴル・日本センターと在モンゴル日本国大使館による日本留学の概要と国費奨学金制度の説明をセンター1階ロビーで実施した。さらに帰国留学生の会JUGAMOによるトークイベントも同会場にて開催された。在モンゴル日本国大使館、モンゴル日本語教師会、モンゴル・日本センターと参加大学のブースを多目的室に設置した。開会式は11時30分から開始、11時40分から17時00分まで多目的室にて在モンゴル日本国大使館、モンゴル日本語教師会、モンゴル・日本センターや各大学による個別相談を行った。

② 各大学の紹介プレゼンテーションに関して：

大学紹介プレゼンテーションをZOOMで実施した。画面上ではモンゴル語のPPTを表示し、発表は英語で行い、各大学20分間以内とした。

➤ 参加大学からのコメント：

・運営、動員、またテーブル対応の皆様が非常に協力的で大変助かりました。イベント会場の盛況感などを見て満足ではありますが、学生のリードやその後の出願への繋がりが見えないので、一旦「満足」とさせていただいております。また、ブース装飾でスタンドバナーを作成頂いていたのは大変助かりました。

・300人ほどの集客を得たのは大きな成果だったと思いますので広報活動から当日の運営まで丁寧にご準備いただいたおかげだと感じています。プログラムについては満足しており意見はございません。

➤ 参加大学からの提案について：

・今回本学の参加の方法はMOJCさんがイメージされているものと乖離が無かったか教えてほしいです。参加大学がもう少し多かったら学生にとっては良かったのかな、とは思いました。また、参加大学には対面参加/リモート参加で選択肢があってもよかったと思います。

・15:00以降の後半の時間は人が非常に少なかったような印象です。2大学だけのフェアはインパクトにかけるかと思しますので今後は4大学以上の参加があった場合に実施するなど検討が必要かと思えます。

・難しい御願いなのは重々承知ですが、参加大学が増え、1校あたりの出展費がもう少し安価(目安10万円未満)になると大変助かります。

9. 担当者（通訳者）からのコメント：

京都先端科学大学の担当者：

当日は京都先端科学大学のブースでは94名が訪れ、大学紹介及び英語でのプログラムについて情報を受けた。来場者のほぼ8割が英語で日本に留学する希望者がいた。その8割の中には、2025年に卒業見込みの11年生が多かったのは京都先端科学大学の2025年からの出願や新しく始まるバイオ環境学部等の出願に繋がったのではないかと思う。ブース対応中には、KUASの担当者が、オンラインで直接追加対応ができたので、大変好評だった。また、モンゴルの卒業シーズンが近かったということもあったかもしれないが、例年より日本留学に関する情報収集と準備を早めに始める人が多くみられた。

立命館アジア太平洋大学の担当者：

1. 今回の留学フェアは思ったより沢山人々が参加した。
2. 前年度と比べると中学校11年生が多かった。
3. また、地方から留学フェア見学に来ている子達も多かった。

10. 全体として

1) 良かった点：

- 例年同様にJICAモンゴル事務所を通して、参加大学からの案内資料等を通関トラブルなしに無事に受領できた。
- ブース担当者（通訳者）が非常に優秀で積極的にサポートしてくれた。
- 各大学の情報を英語版でFBページにて掲載したことで、日本語が話せなくても英語で日本へ留学したい人々へ宣伝できた。
- 「JUGAMO会」と連携し、ゲストとして帰国留学生を招きトークイベントを実施した。また、今回は特別に帰国留学生用にブースを設けた。そのため、来場者は具体的な情報を直接聞くことができ、非常に好評だった。
- 当日、開会式から大学の発表までのプログラムをモンゴル・日本センターのフェイスブックページでライブ発信した。視聴数5892回。

2) 今後の課題

- 開催概要に記載されていた最小催行大学数6校を達成するために、広報活動をより早く開始することを検討する。
- 一国で1年に2回も留学フェアに参加することは、参加大学にとって負担が大きいため、今後参加費をもう少し安価にすることを検討する。

11. その他：

別添①-留学フェア様子

以上